

説明することができます。



総務企画課 情報管理班

ひきこもりで悩んだときは…「アンダント」に

青少年交流スペース「アンダント」は、15歳から30歳代のひきこもり傾向にある青少年の円滑な社会復帰及びその家族を支援するための交流の場です。無料で利用できます。

■ところ 県男女共同参画センター「あざれあ」5階
(静岡市駿河区馬渕1丁目17-1)

親の学習会(新規利用者対象)

ひきこもりに悩む青少年の保護者や家族を対象にした学習会です。「アンダント」活動内容紹介、カウンセラーとの懇談などを行います。
■7月7日(土)13:00~

個別面談及び電話相談

ひきこもり傾向にある青少年やその家族の相談に丁寧に対応します。

面談希望の方は、事前の予約が必要です。電話又はファックスでお申し込みください。

■毎週月~土曜日10:00~16:00

フリースペース

ひきこもり傾向にある青少年が安心して自由に使える場です。

■毎週月~土曜日9:30~16:00

親(保護者の会)

ひきこもり傾向にある青少年を抱える家族の交流会です。

■毎月第3土曜日の午後

[問・申]「アンダント」TEL 054-255-0600
<http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-080>
[社会教育課]

「分かる授業」の実現に向けて、簡単で効果的なICT活用の一つの方法は、实物投影機・ビデオカメラなどとデジタルテレビ・プロジェクター・電子黒板などを接続して、教材や手順等を「大きく映す」ことです。

大きな画面で教材を映すことで、主に次のような利点があります。

○子どもの視線が画面に集中し、教室に一体感が生まれる。

○教科内容の説明や作業操作の指示を分かりやすく伝えることができる。

○子どもの興味・関心を引き出すことができる。

○ICT活用例として、手元の作業を大きく映すことで、実物投影機とプロジェクターを使い、卓に集めて手本を示す方とによって、「玉結び」「ボタン付け」「玉止め」のやり方を分かりやすく説明することができます。



画面に映しながら、短時間で効率的に指示・説明をすることで、子どもたちが実際に作業する時間を十分に確保することができます。

ICT活用で授業にバリエーションを!

定期健康診断を受診しましょう 再検査等は早めの受診を!

定期健康診断の季節です。再検査の指示を受けた方、「いつものことだから」「再検査・精密検査を行っても同じ結果だから」と言わずに、今一度自分自身の体について、考えてみましょう。

運動不足や生活習慣の乱れから、生活習慣病と言われる糖尿病や高血圧症などが発症すると言われています。人事異動などによる、職場環境の変化に少しずつ慣れていく頃だと思います。忙しい中でも、時間を作り運動をする、規則正しい生活や、油物を控えた食事など、気配りましょう。

私自身採用から8年連続で、再検査を受診しました。しかし、食生活の改善(食事のご飯の量を少し減らす)をしたところ、基準値の範囲に収まるようになりました。

まずは、ほんの少しのことからやってみましょう。病気のほとんどは、発見が早いほど治癒する確率が高くなります。再検査や精密検査等の指示があった場合は、早めに確実な受診をしましょう。

【福利課 山本 紘孝】

静岡県の教育2012 できました

24年度の本県教育の基本方針、主要施策等をまとめたリーフレット。児童生徒数・予算・進学率・就職率など経年変化も分かる各種データ付き。本県の教育の概要説明に最適です。英語表記付き。

国際交流の際に活用できます。

活用を希望する場合は、必要な部数をお知らせください。

送付料: 教育政策課広報担当 TEL 054(221)3168



TEL 054(221)3168

【静岡県の授業づくり指針】

【M】yしづおか日本一

【静岡県の授業づくり指針】